

令和7年度 第2回 内野小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月10日（金） 13時30分から14時30分
- 2 開催場所 浜松市立内野小学校 北校舎3階 会議室
- 3 出席委員 岡田 正利、平野 岳子、山口 暢子、桑原 純一郎、大久保 公雄、
中道 想、森上 久美子、金子 香穂利、伊藤 正
- 4 欠席委員 作田 悠佳
- 5 オブザーバー 黒瀬 渉（きじの里放課後児童クラブ）
- 6 学 校 生熊 周（校長）、齋藤 隆治（教頭）、平野 晶子（教頭）、
青嶋 慶衣子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 青嶋 慶衣子
- 9 議長の選出

司会の齋藤教頭から、コーディネーターの金子委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

ボランティアの拡充・CS たよりについて

11 会議記録

司会の齋藤教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

・ボランティアを募集して、これまでに二人応募があった。一人は職業講話の講師。もう一人は草刈りや水やりなど。実際に作業している方を見て、やろうかなと思う人が増えれば良いと思う。ボランティア募集に絞ったチラシを作り、引き続き募集する。（金子委員）

・応募は二人とも保護者で、一人はCSだよりを見て。もう一人はもともと図書ボランティアの方。保護者以外にも応募しやすい工夫が必要と感じる。（金子委員）

・さくら連絡網だけでなく、地域の回覧板などで回して、保護者以外の目に触れる機会があると良いのではないかと。（大久保委員）

・学校だよりと一緒に回覧してもらえよう検討中。（山口委員）

・他校を参考に、協働センターなど地域の掲示板にも貼りたい。（金子委員）

・高齢の方が多く、体調不良などでやめそうな方もいる。人数減の対策が必要。（山口委員）

・地域から広く人材発掘をするにはどうしたらよいか。お元気な高齢者にもっと参加してもらいたい。例えば『70歳以上の方へ』と募集してみたらどうか。（平野委員）

・地域の方が学校に入る機会が少ないので、地域の方が遠のきがち。（山口委員）

・亀玉協働センターでは、浜松市ボランティアの登録用紙、タスキ、名札の現物を置いてあり、参加しやすい。また、回覧だと見ないでサッと回してしまうので、全戸配布の

ほうが良い。より多くの方にチラシを見てもらえるようにしたい（岡田委員）

- ・染地台の方は浜名協働センターの場所を知らないことがある。『なゆた』の方が身近なようだ。（山口委員）

- ・協働センターは生涯学習として高齢者の利用率が高い。高齢者をボランティアのターゲットとするなら拠点として適している。（平野委員）

- ・小学校と関係が薄いと、募集を知っても協力する気持ちが弱い。孫が小学生など、関係のある方のほうが協力してくれやすい。運動会などで募集チラシを手渡したらどうか。（大久保委員）

- ・訴求性のあるキャッチフレーズを考えたい。（平野委員）

- ・『子どもとの触れ合いを希望する方』というのはいかが。ある方がボランティアを辞めようと思った際、孫に「ぼくがいる間はやってよ」と言われて継続する気になったそうだ。（岡田委員）

- ・保護者だけでなく『おじいちゃん・おばあちゃんお願いします』。子どもに関わる場合の責任問題がハードルを上げている面はある。（金子委員）

- ・運動会で手渡しされて邪魔にならない小さなチラシにしたい。分かりやすく、大きく『募集』と書いて、裏は応募用紙。運動会に来た時に渡して、空き時間に読んでもらえると良い。（平野委員）

《その他報告事項等》

○司会から、次回会議は2月2日（月）午後1時30分から、北校舎3階会議室で開催する旨の報告があった。

○山口委員が10月末に退任される。